



11月 幼稚園だより

令和4年11月1日
千代田区立番町幼稚園
園長 中村 千絵



(番町幼稚園HP)

なりたい自分になるために

園長 中村 千絵

10月22日(土)には3年ぶりに親子スポーツデーを全学年参加、校庭にて開催することが出来ました。たくさんの方の保護者の皆様にご参加いただき、親子競技や全保護者による「つなひき」も子どもたちと一緒に楽しんでいただけました。本当にありがとうございました。



<憧れの実現>

子どもたちは、小学校の運動会を見て小学生に憧れ、親子スポーツデーで年上の学年に憧れます。憧れの気持ちは、真似につながります。親子スポーツデーの後は今年も、「他の学年のまねっこ」が大流行中です。憧れのものに、自分を投影させ、自分がまるでうめ組になった気持ちになって踊っているもも組の子どもたちの表情は、まさに「得意気」です。憧れて「こうなりたい」と思うこと、そのことが意欲につながっていきます。

5歳うめ組 オープニングで「ソーラン節」に挑戦する!

親子スポーツデーの最初には、うめ組の子どもたちが応援の気持ちを込めて、「自分たちのやりたいこと」を披露します。今年度は、「応援団」「チアダンス」そして、小学生に憧れたうめ組からは「ソーラン節をやりたい!」と言う声があがりました。「小学生に教えてもらいたい」と言う子どもの声から、5年生がなんと4回も教えに来てくれました。憧れの小学生から直接教えてもらう喜び。「ソーラン節」の係を選んだ子どもたちは、それからスポーツデーまで、繰り返し繰り返し、自分たちで踊ることを楽しんでいました。「憧れるもの」に自分たちで向かい、自分たちで練習して子どもたちの表情は輝いて見えます。

<空想の世界でのなりたい自分>

スポーツデーに向かう活動の中には、幼児期ならではの空想の世界を楽しみながら、「こうなりたい自分」に向かう姿がありました。

4歳児さくら組 海賊からの手紙で「かっこいい」自分を目指す!

さくら組はスポーツデーの表現リズムで、「海賊のお祭り」をしました。なんと、5回、海賊の子どもからさくら組にお手紙が届いたのです。お手紙が園での生活と「海賊」という空想の世界をつなぎます。手紙で、海賊から踊りのポイントを教えてもらい、踊りを楽しんでいると、また、「踊り見てたよ!」と手紙が来る。そのやり取りの中で、空想の世界をたっぷり楽しみ、海賊の仲間になったような気持ちになり、「自分はかっこいい」と感じる。大人に評価される(ほめられる)ことが目的ではなく、自分自身で憧れに向かって楽しむ、さくら組の子どもたち一人一人が経験することができました。



<自分の考えを実現させる>

行事に向かう活動だけではなく、日々の保育の姿の中にも、なりたい自分になる「自己実現」の姿があります。こんなちょっとした遊びの中でも、自分の考えを実現しています。

3歳児もも組 素敵なおもちゃを思いつく

園庭にどんぐりが落ち始め、どんぐりを集めたり、どんぐりを使って遊んだりする姿がでてきたもも組。どんぐりを自分専用のかごに入れて持ち歩いている中、ふとマンホールの模様に気付いて、その中にひとつどんぐりを入れました。すると、どんぐりの大きさがぴったり模様の中に入りました。このことに気付き、順番に並べていき、得意満面です。自分の思いついたことが、成功した喜び。こんなさりげない遊びも、子どもにとっての自己実現です。



11月は、2回の遠足や焼き芋パーティーなどがあります。様々な体験を通して、「なりたい自分になる」ための意欲をしっかりと育ててまいります。